ともに

Dear our partners, Dear our friends,

【校訓】
やさしく
かしこく
すこやかに

平成２７年９月８日
第１７号

天草市立久玉小学校
学校通信
編集代表
校長　本田勝則

現代の子育てで特に大切なこと

8月29日(土)天草PTA連合会会員研修に出席しました。その中で岡崎光洋先生の講演会がありました。おもしろく大笑いしながら、でも大切なことがちゃんと心に届く、終わったあとで、聴いてよかったなあという講演会でした。

とてもよかったので、大まかな内容を紹介します。

現代の子育て特に大切なこと」

くまもと心理カウンセリングセンター代表
臨床心理士　岡崎光洋氏)

子育ては、心と体と頭を育てることと言います。頭と体は、ご飯を食べたり運動したり、学校の勉強をきちんとしたりすることで育ちます。では心はどうやって育てますか？

実は、苦しいとか悲しいとかつらいとか、思い通りにいかないことに出会って、心が育つのです。

困難が子どもを育てるのです。なのに、バラハラオロオロと過心配(過保護)になったり、「しなさい、しなさい」と過指示になったりしてしまいます。

いくら世の中が便利になっても、生きることは便利にならない。思い通りにいかないからこそ、自分らしさでどう生きていくかを学んでいくのです。

子育ては、包み込む優しさ(母性)と、ダメなものはダメという毅然さ(父性)のバランスです。「ここでいう母性と父性は母親、父親ではなく、優しさと厳しさです。)

優しさだけではもちろんダメなのに、今は優しさだけの子育てになっていませんか。思い通りにならないこともあるということを教えないといけないのです。

学校のよさは、そこに対人関係の練習ができるチャンスがあるということです。だから、もめ事があるたびに、何もかも学校に要求するのではなく、対人関係の練習をしていると考えましょう。

野球に例えれば、打ちやすい球ばっかり投げて打つ練習をして上手にはなりません。

カーリングに例えれば、よくすべるようにと、親が障害物をすべて掃いてよけてあげれば何も育たないのです。

日本人は自己肯定感(自分を認める心)が育たないと言います。これも同じで、「困った」「まった」なんで…「いやだなあ」という失敗の経験をしないと、自己肯定感も育たないのです。(以下略)

十一月に牛深地区で講演会を予定しています。

実は、その講演会の講師が、岡崎光洋先生です。これは絶対聴くべきです。何よりも心がス～っとして、気持ち良くなりますよ。

岡崎光洋　先生】：臨床心理士
くまもと心理カウンセリングセンター代表

1963年生まれ。上天草病院小児病棟で十一年間勤務。当時、県乳幼児精神発達健診心理判定員を兼務。現在、スクールカウンセラー、熊大附属病院総合診療部臨床心理士、熊大医学部講師、県教育相談専門員、県メンタルヘルス講座講師

大団円
～校長室より～

「将来を見据えた子育て」
～ある教育実践家の講演内容から～

現代社会が"働けない大人を量産している"と言う。

子どもの頃から痛みや葛藤を遠ざけた結果、社会人になって厳しい現実に直面すると、そこから逃れようとする。実際の社会は嫌なことだらけ。嫌なことをはねのけられる大人になってほしい、と言っている。では、子どもの頃から学ぶべきことは、何か。

○「合わない」と言わない

『あの先生は、あのクラスメートは、自分と合わない』などと、言っていないか。合わないという前提の上でどう合わせていくかが大切なことである。

○何に傷ついたかを考える（そして、日記を書く）

悩みや苦しみと向き合い、乗り越える方法として日記が最適である。ドロドロした感情を抱き、ウジウジした自分をさらけ出すと、何に傷ついているかが見え、楽になる。本音の日記を始めることは、人間として成長する第一歩である。

○きつい方をとる

重い荷物と軽い荷物があれば、重い方をとる。大変なことほど「自分がやります」と行動すれば、周囲が評価し、引き立ててくれる。目の前にゴミが落ちているのを見て、落としたのは自分じゃない、と素通りするのでなく、率先して拾う。

○自分で決める

自分ですべきことを他人任せにするのではなく、よく考えて自分で決める。その繰り返しが大事である。

目の前にいる子どもが、将来、厳しい社会を力強く生き抜くには、心身ともにたくましく育つことが必要だ、ということは誰もが認めるところでしょう。

子どもの二十年後、三十年後を見すえて『子育て』に携わることの大切さをあらためて教えられた気がします。

今日は本田校長先生が教員になって１３３０８日目
そして、平成２８年３月３１日は１３５１３日目

ノーテレビ ノーゲームデー

第一、第三水曜日のノーテレビ・ノーゲームデーの取組が変わります。取組を読書にしぼり、子どもたちの読書力の向上を図ります。ご理解ください！

第一水曜日】
熊本の心」を読みます。

第三水曜日】
「選定図書」を読みます。

第三水曜日】
60分以上の読書で「ぶり」、40分以上で「はまち」、20分以上で「もじゃこ」です。

選定図書とは？】
学年に応じたお薦めの本を各学年、児童数程度選定しました。これを読破するのも、二学期の目標になります！

ホームページならカラーで見ることができます！ＵＲＬは、
http://es.higo.ed.jp/kutamaes/
もうすぐ７００００アクセスです。
久玉っ子のようすを１日２－３００人に閲覧いただいています！

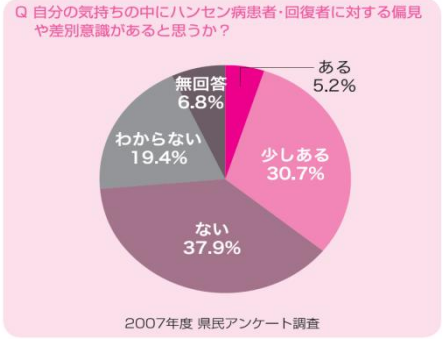
だれの言葉でしょう？

人間には無限の可能性が秘められている。
だからこそ、誰もが夢を持ち、それを実現させようと頑張れる。
なにを頑張るかと言えば、まずは自分という人間を磨くことだと僕は思っている。
諦めず、妥協せず、挑戦する勇気、努力を惜しまない姿勢。

（答えはこの通信の左下です）

なるほど・ザ・人権教育

資料引用：人権研修テキスト（熊本県）



夏休みに、ハンセン病のことを正しく理解するために、久玉小職員で、菊池恵楓園に、研修に行きました。

自分の目で見ないとわからないことがいっぱいあります。世の中ってそうですよね。

機会があったら、行ってみてください。

子育てをしていて思います。「親を超えていってほしい」と。

そこで、超えられるかな？と疑問詞がつくのが、やはり「心を強くする」ということです。

うちの息子も、生きていく強さを身につけていっているのかと思うことがあります。

それだけの経験をさせているかなと思うこともあるし、経験させることも難しいのかなとも思います。

学校ってそういうことを経験する場かな、とも思います。

（答え）長友佑都（サッカー日本代表）